

すばり 町政を問う!

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点^{ただ}を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
9	藤本 健太 議員	1. 児童生徒の学校生活の現状は 2. 今後の下水道にかかわる整備は
10	中島 数宜 議員 竹爪 憲吾 議員	1. デジタル化による業務等の取組み状況は 1. 子育て支援と対策は
11	水原 耕一 議員	1. 地域コミュニティの場が減少、対策は 2. 民生委員・児童委員に対する支援は
12	沖田 ゆかり 議員	1. 出生届のオンライン化を 2. 断水時の水の確保と供給を
13	片川 学 議員	1. 高齢者等への環境省指針のゴミだし支援を 2. 過去に無い熊野トンネル・矢野峠通行止めは
14	尺田 耕平 議員	1. 創作館等新規施設の運営戦略は

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
なお、熊野町議会のホームページ(<https://www.town.kumano.lg.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

Q 児童生徒の学校生活の現状は

A 教育部長

児童生徒一人一人をサポートできる体制をつくっている。



録画映像



藤本 健太 議員

【Q1】

現在の本町の小中学校の不登校者数は。

【A1】

令和7年度1月末時点で小学生30人、出現率2.6%、中学生52人、出現率8.5%。

【Q2】

不登校児童生徒への対策は。

【A2】

担任、副担任や生徒指導主事、学年主任等の家庭訪問に加えて、スクールソーシャルワーカーが家庭訪問をしている。また、ICTを活用し、学校と不登校児童生徒がよりつながりやすくしている。その他の対策として、SSR(スペシャルサポートルーム)の導入など。

【Q3】

学校給食が弁当方式から食缶方式に変更し

たが、児童生徒、保護者の反応は。

【A3】

アンケート結果より児童生徒の反応は、「給食時間の楽しさ」、「温かさへの評価」、「味付け」について、肯定的意見が60%~80%程度あり、満足度が高い状況。

家庭では、「おいしかった」、「おかわりした」と会話が増加し、親子のコミュニケーションが活発になったとの声や、給食当番などの経験が家庭での手伝いや責任感に繋がっているとの声も寄せられている。

一方で量が足りないとの声が届いている。

残食量・残食率との関係も踏まえ、注ぎ分けやおかわりの仕方について検証する必要があると考える。



Q 今後の下水道にかかわる整備は

A 建設農林部長

熊野町下水道ストックマネジメント計画に基づき更新していく。

【Q1】

熊野団地の改築更新事業は予定通り終わるのか。

【A1】

予定通り令和10年には完了する予定。

【Q2】

熊野団地が完了した後の計画は。

【A2】

本城団地、皇帝ハイツ、大原ハイツの調査から順次着手していきたいと考えている。

【Q3】

3つの団地で、老朽化により陥没などは発生していないのか。

【A3】

令和6年度に、本城団地内で1件幅50cm四方、深さ45cmの陥没があった。

その後、団地内の点検を行い、異常は見つからなかったことから、部分的な老朽化で、緊急性はないと考えている。

【Q4】

一部が事故をすれば、他の近い箇所も同様にならないのかとを感じるが、ここに対してはなんらかの点検、調査は実施されているか。

【A4】

日常業務による目視のパトロールと、全職員に、通勤時や業務で町内に出る時など、道路等の異常があれば通報してもらうようにしている。

